

# アイスランドの歴史と自然

松本涼（福井県立大学 講師 | [matumoto@fpu.ac.jp](mailto:matumoto@fpu.ac.jp)）

## 1. アイスランドとは？

- ・最近のニュースより
- ・基礎情報

人口：33万2,529人（2016年1月現在） 国土：10万3,000 km<sup>2</sup> 首都：レイキャヴィーク（北緯64度8分）

産業：アルミ工場、観光、漁業、牧畜 \* 2008年秋、経済破綻

2015年の発電電力量

	GWh	%
水力	13.780	73,3
地熱	5.003	26,6
化石燃料	4	0,0
風力	11	0,1
合計	18.798	100

## 2. 自然——「炎と氷の島」

- ・火山 噴火 温泉 → 地熱
- ・氷河 滝 → 水力

## 3. 歴史——辺境の島の1100年

（出所：ORKUTÖLUR 2015, Orkustofnun, 2016, p. 4.）

870～930年頃 無人島にノルウェー系ヴァイキングの植民——新しい社会の形成

999/1000年 全島集会においてキリスト教への改宗決定

1262-64年 ノルウェー王の支配を受容 → ノルウェー王国

1397年 カルマル連合（ノルウェー・スウェーデン・デンマークの同君連合） → デンマーク王国

17-18世紀 危機の時代：寒冷化、疫病、噴火、地震、海賊襲来、魔女狩り → 人口の激減

\* 1783-85年「霞の飢饉」：1703年 全人口 50,358人 → 約39,000人

1944年 デンマークより完全独立 → アイスランド共和国

1973年 石油危機 → 石油に代わるエネルギー源として、自然エネルギー開発をすすめる

\* 2016年 7カ所の地熱発電所が稼働中

- ・自然に優しいエコな国 ↔ 自然破壊の記憶

【史料】木の伐採（「ヴァープナフィヨルドの人々のサガ」7章）

「ソールズルという男が、スンヌダルル谷のトゥンガという農場に住んでいた。ホヴの農場と同じ川岸にあった。彼は〈鉄釘〉ヘルギのシングマンだった。ソールズルはソルモーズルと林を共有しており、境界を設け、木を伐り、家畜に草を与えていた。だがソールズルはソルモーズルにだいたいの食い込まれているように思い、ヘルギに会いにいった。ソルモーズルが侵入していることを訴えた。

…中略… しばらくして、ヘルギは小作人を集め、使用人や食客とともに自分に従って出かけるようにと命じた。ソルモーズルと共有している林へ行くと、木をすべて伐って、一本残らずホヴへ運んでしまった。」

### ■参考文献

小澤実・中丸禎子・高橋美野梨編『アイスランド・グリーンランド・北極を知るための65章』明石書店、2016年。

熊野聰『サガから歴史へ—社会形成とその物語』東海大学出版会、1994年。

グンナー・カールソン『アイスランド小史』早稲田大学出版部、2002年。

椎名誠『アイスランド 絶景と幸福の国へ』日経ナショナル ジオグラフィック社、2015年。

菅原邦城・早野勝巳・清水育男編訳『アイスランドのサガ 中篇集』東海大学出版会、2001年。

美也子ソルザソン『風がよごれていない国アイスランド』同時代社、2001年。

【DVD】Sigur Rós, *Heima*, XL Recordings, 2007（2006年夏にアイスランドでおこなわれた野外ライブツアーの映像）